

出題のねらい

ア. 全般的なねらい

思考力や想像力を働かせて国語を正確に理解し、的確に表現する力をみるために、国語の基礎的・基本的事項を中心として幅広く出題した。

イ. 各問いのねらい

- ① 「学び」の本質と真の「教養」のあり方を述べ、「六芸」の「礼」の本義を明らかにしながら、その現代的意味を具体例を通して解説した末に、「存在しないもの」との関わりに「学」の始点を位置づける説明的な文章によって、言葉の知識・意味、文章構成を考慮しつつ内容や筆者の主張を読み取る力をみるとともに、それを的確に表現する能力をみる。

- ② 『平家物語』の文章とそれに関する小林秀雄の批評とを引用しながら、『平家物語』は、一般に言われる無常感のみならず、人間の生き生きとした身体とそれを描く豊かな日本語の力をその本質とすると述べる文章の一節を取り上げることによって、古典に関する基本的な知識や内容を読み取る力をみるとともに、表現の特徴と古典の中に息づく人間の生き方をとらえ、それを的確に表現する能力をみる。

- ③ 老舗の鰻屋の女将と家業を継ぐために帰郷した息子との再会の場面を、父親や照さんとの関わりを交えて描く文学的文章によって、文章の表現や構成に配慮しながら登場人物の心情を想像力を働かせつつ読み取り、それを的確に表現する力をみる。